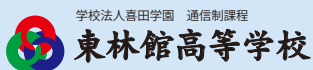


# 「教えて喜田先生!」子育てに悩む パパ&ママを応援!



学校法人喜田学園 通信制課程

**東林館高等学校**

- ◎3年で高校卒業を目指すコース
- ◎受験対応個別指導コース
- ◎中学生コース・社会人コース

目的に合わせた幅広い学びを提供しています

福山市光南町1-1-35  
TEL.084-923-4543  
FAX.084-926-9607



●福山駅南口から徒歩で約10分

東林館 福山

検索

●**発達障害ってなんだろう?**  
空気が読めない、落ち着きなくソワソワする、忘れ物が多い、計画性がなく衝動的に物事を始める、整理・整頓や物の管理ができない、人が傷ついたり怒ったりすることを言ってしまう、会話のキャッチボールが苦手、会話のとき目線が合わないなど。このような症状を複数抱える人の中には発達障害のある方がおられるのかもしれませんが、障害ではなく性格特性かもしれません。ではこれらの特性を持つ人に対して、周囲はどう接すれば良いのでしょうか。本人はどんな想いを抱き、何に生き辛さを感じているのでしょうか。

誰もある程度の性格特性はありませんが、発達障害がある人にはその度合いが通常よりも色濃く現れます。脳の中で起きている障害であるため、周囲から気付かれず、理解が得られず、学校や地域社会・会社などで生き辛さを感じる例も。またそれぞれが違う特性を持つため、その人に合ったサポートが求められますが、周囲の理解や適切なサポートがあれば、社会の中で生き抜く力を持っています。

私も診断を受けた多くの子どもたちと接してきましたが、特に思春期を安心して、心が砕け散るほどの挫折感を味わうことなく、通過させてあげることが大切です。また保護者の苦勞や悩みは大きく「何とか我が子を社会に適応させてやりたい」と頑張っておられます。

昨今、発達障害という言葉だけが、正しい理解や支援を伴わず、独り歩きしている感が否めません。しかし発達障害のある子どもが、ある日突然、劇的に改善する、いわゆる「魔法の杖」は存在しません。だからこそ、子ども一人一人に目を向け、それぞれに合う支援や対応を社会全体で学ぶ必要があります。

直接的なサポートでなくても、皆さんの温かい眼差しをお願いします。周囲の人が理解してくれることは子どもや保護者にとって本当ありがたいものです。皆さんの理解があれば、本人や保護者にとって、まるで違う世界になるのです。



喜田 紘平

東林館高等学校 理事長  
実践心理学カウンセラー

学び・自立支援を通して  
子どもの未来を創ります